


検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検査

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検	こんな症状はありませんか	
	●スイッチを入れても所定の時間で充電しない	<p>このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。</p>
	●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する	
	●ヒューズがすぐ切れる	
	●ストロボ電源部やヘッドに触るとビリビリと電気を感ずる	
	●その他の異常や故障があるとき	

- ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。

取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

- 上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®

コメット株式会社

本社	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5786	FAX.(03)5916-5872
仙台営業所	〒981-8003 仙台市泉区南光台 4-29-25	TEL.(022)727-6521	FAX.(022)727-6523
東京営業所	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5788	FAX.(03)5916-5875
東京営業所 コマーシャル課	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5789	FAX.(03)5916-5876
東京営業所 ストロボクリニック課	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5794	FAX.(03)5916-5878
東京営業所 名古屋連絡所	〒463-0813 名古屋市守山区吉根南 501 101号室	TEL.(052)737-3175	FAX.(052)736-2841
大阪営業所	〒531-0075 大阪市北区大淀南 2-6-15	TEL.(06)7658-1188	FAX.(06)7658-4848
大阪営業所 ストロボクリニック課	〒531-0075 大阪市北区大淀南 2-6-15	TEL.(06)7658-1188	FAX.(06)7658-4848
福岡営業所	〒816-0912 大野城市御笠川 4-11-19 VI-2号室	TEL.(092)504-9005	FAX.(092)504-9006
海外事業部	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5786	FAX.(03)5916-5872
産業機器部	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5787	FAX.(03)5916-5874

URL <http://www.comet-net.co.jp>

E-mail mail@comet-net.co.jp

2103-0005A-4

COMET

CS-2400T II

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも
見られるところに保管してください。



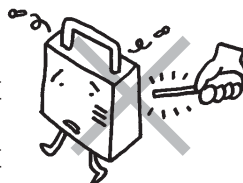


警告



- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部は、メインスイッチを切り AC コードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。
また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。
十分注意をしてください。



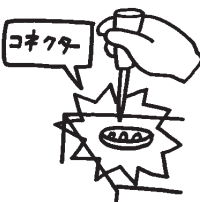
- 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。



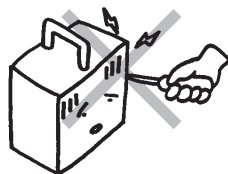
- 電源部の出力コネクター金属部には、絶対に触れないでください。

電源部は、メインスイッチを切った後も高電圧が残っており、感電の恐れがあります。



- 電源部やヘッドのスリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

感電、ショートによる発火の恐れがあります。



- 感電防止のため、必ずアース（接地）してください。

アース線を接続するときは、機器のメインスイッチを切り、AC コードをコンセントから抜いて行ってください。

アース線は絶対にガス管にはつながないでください。



- 使用中のヘッドに水滴などがつかないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。取扱いには十分注意をしてください。



- ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクターに確実に差し込んでください。また締め付けリングのあるタイプは差し込み後、リングを回転し締めつけてください。

プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。



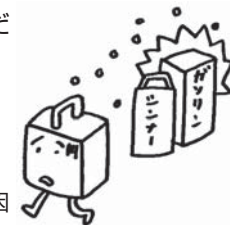
- ヘッドは発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。



- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。



- 使用電圧は AC100V (50/60Hz) です。

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。

- AC コードプラグやヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。

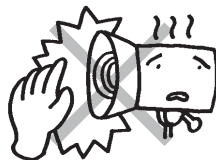


⚠ 注 意



■使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。

火傷の恐れがあります。

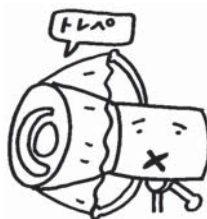


■ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。

■ヒューズやモデリングランプは弊社指定の定格品を使用してください。

定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



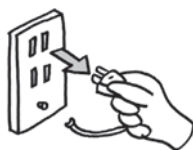
■落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



■使用後は安全のために必ず AC コードをコンセントから抜き取るか、ブレーカーなどを OFF にしてください。

発火、火災の恐れがあります。

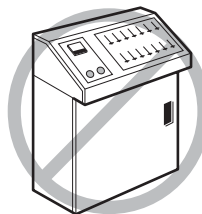


2 使用上のご注意とお願い

■本機の定格入力電圧は AC100V ± 10% (50 / 60Hz) です。

定格電圧以外での使用は故障の原因となります。

■調光機に接続しての使用はしないでください。本機および調光機を破損する恐れがあります。

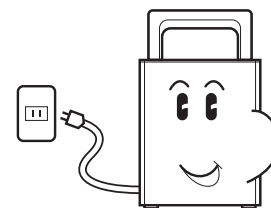


■本機の適合ヘッドは CB-25 ヘッドです。その他の CX タイプヘッドをご使用になるときは最大入力定格（ストロボおよびモデリングランプ定格）にご注意ください。定格の合わないヘッドの使用は故障の原因となるだけでなく大変危険です。

■本機で CX-12 バイチューブヘッドや多灯管ヘッド (FR メインライト、スカイライト、SF-Ⅲヘッドなど)、レクト 126 ヘッドの使用はしないでください。電源部やヘッドを壊す恐れがあります。

■ストロボ電源部は使用しないときでも1ヶ月に1~2度は必ず出力を FULL にして通電をしてください。

【通電の方法】コネクターに発光部を接続し、各灯スイッチを ON にして出力を FULL にしてください。



■3ヶ月以上（10ヶ月未満）の長期間で使用にならなかったストロボ電源部は、出力を FULL にして最低4時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。

【通電の方法】同上

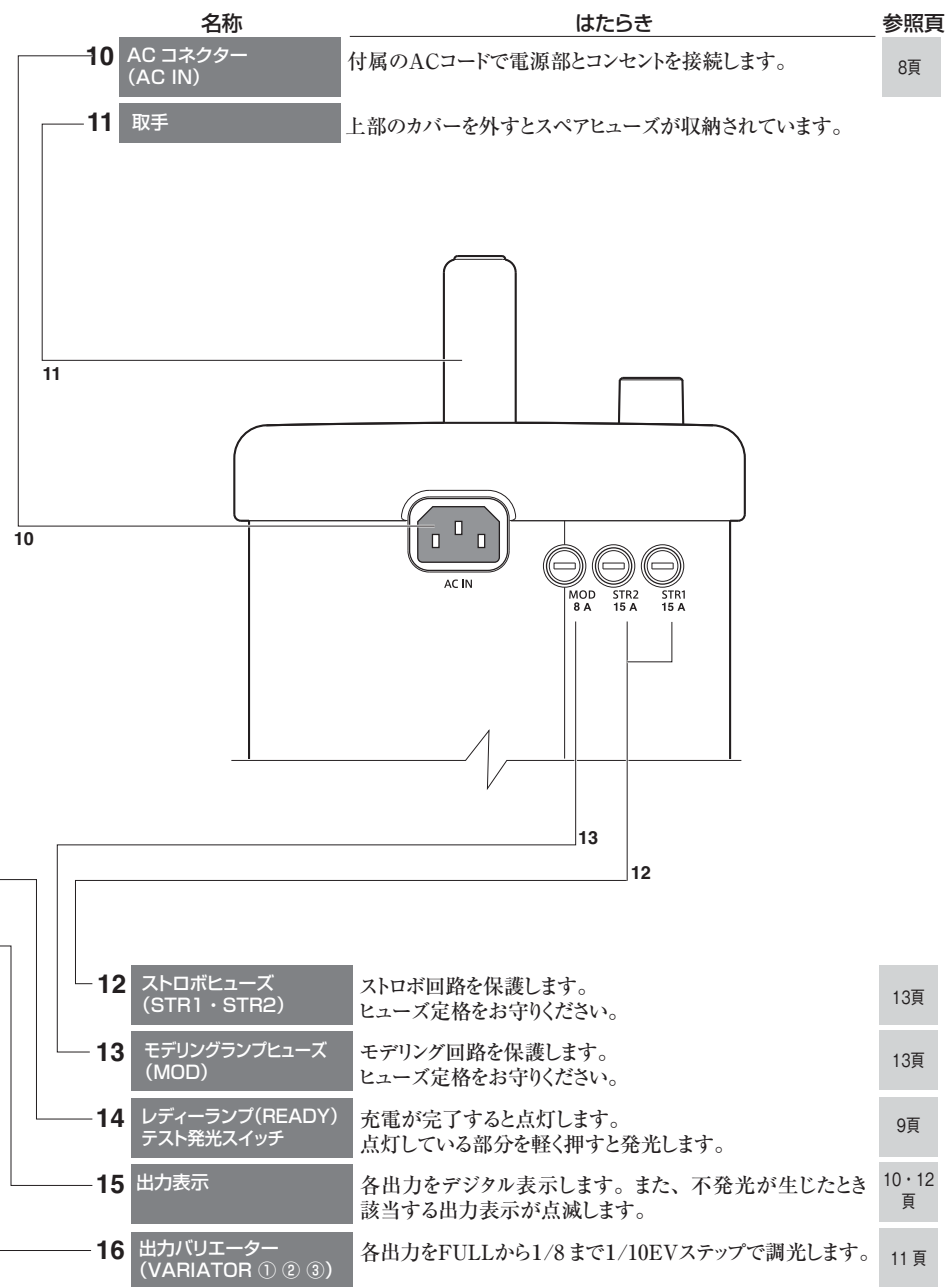
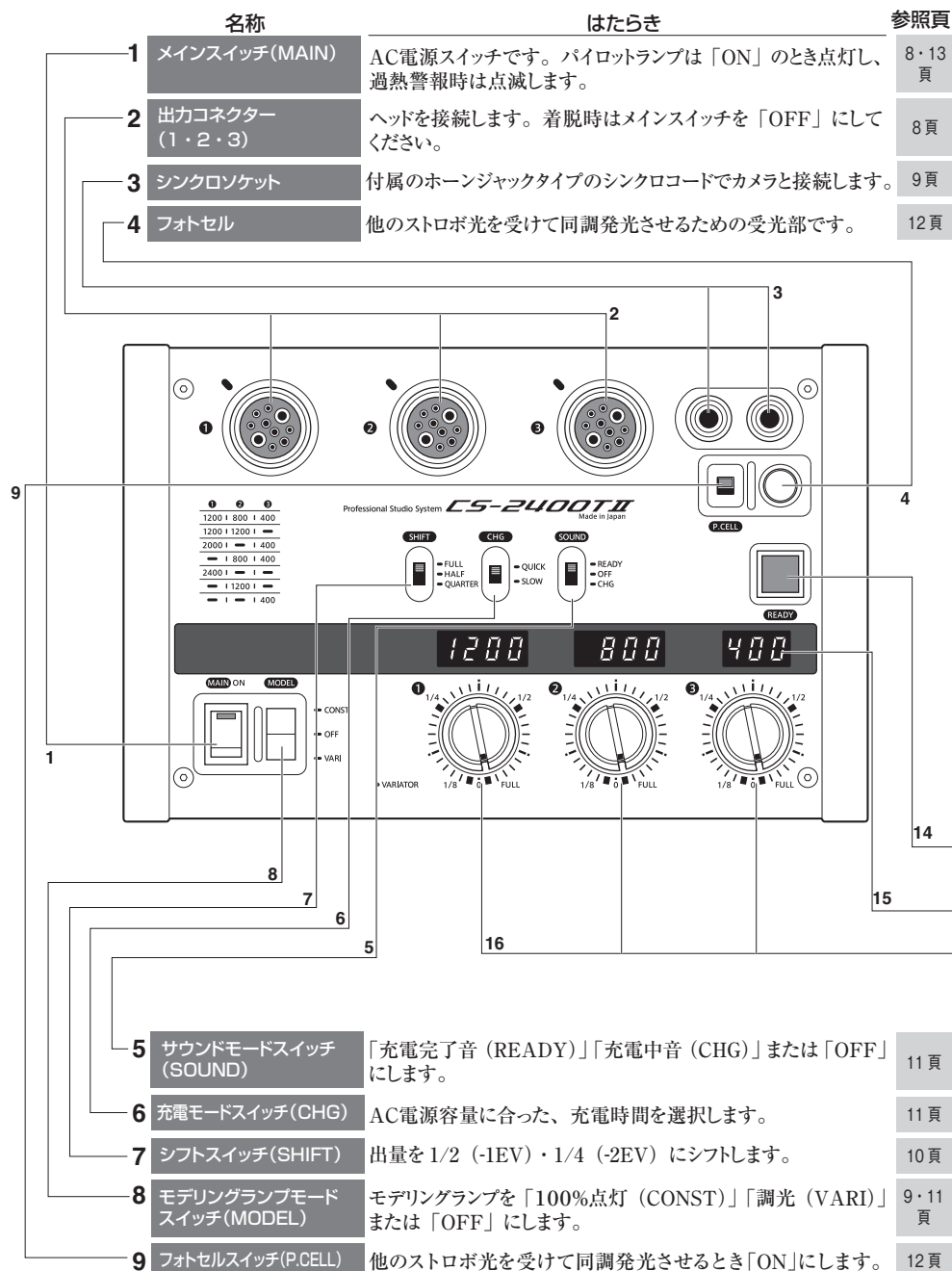
■10ヶ月以上の長期間で使用にならなかったストロボ電源部は通電せずに弊社クリニック課による点検（有料）を受けてください。長期間で使用にならなかったストロボ電源部は、通電または発光をくり返すとコンデンサーが発熱し、**発火、火災の恐れ**があります。

■赤外シンクロ装置（当社製）の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

■赤外シンクロ装置（当社製）を使用するときは、使用する各々の電源部に受信器をセットし、電源部のフォトセルスイッチを必ず「OFF」にしてください。赤外シンクロ受信器を使用している場合でもフォトセルスイッチが「ON」のとき、同調発光しない電源部が出る場合があります。

3 各部の名称とはたらき

(本図は、ヘッドを3灯接続している状態の出力表示です。)



4 操作手順

■ 1. ヘッドコードを電源部へ接続します

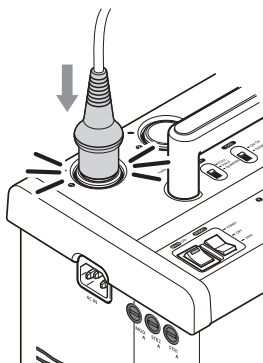
ヘッドコードを電源部の出力モードに合わせて、出力コネクターへ接続します。

"カチッ"と音がするまで十分に差し込んでください。

【ご注意】

●コネクターを確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、発光時に流れる大電流によりコネクターが損傷し、発火の恐れがあります。

また、コネクターを着脱するときはメインスイッチ (MAIN) を必ず「OFF」にしてください。



■ 2. 充電サウンドを選択します

充電状態を知らせるサウンド (SOUND) が必要なときは、「充電完了音 = READY」「充電中音 = CHG」のいずれかにセットします。

●警報はサウンドスイッチのモードに関係なく鳴ります。

👉 詳細は11ページ 10. 充電サウンドをご参照ください。

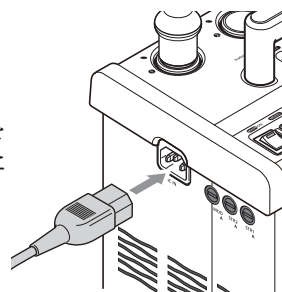
SOUND



■ 3. ACコードを接続します

電源部のメインスイッチ (MAIN) が「OFF」になっていることを確かめてから、ACコードを電源部のACコネクターへ、十分に差し込んでください。

そのあと、ACコードをコンセントへ差し込みます。

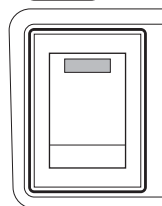


■ 4. メインスイッチを「ON」にします

メインスイッチ (MAIN) を「ON」にします。

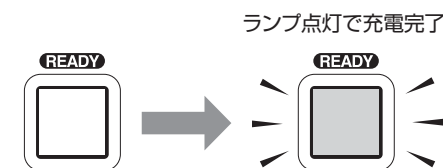
ACパイロットランプが点灯して充電が始まります。

MAIN ON



■ 5. 充電の完了

充電が完了すると、レディーランプ (テスト発光スイッチ兼用) が点灯し、発光準備が完了します。

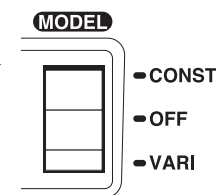


ランプ点灯で充電完了

■ 6. モデリングランプモードを選択します

モデリングランプモードスイッチ (MODEL) でモデリングランプの点灯モードを選択します。

👉 詳細は11ページ 8. モデリングランプモードをご参照ください。



■ 7. テスト発光をします

テスト発光スイッチ (READY) を軽く押して、接続したヘッドが正常に発光していることを確かめてください。

■ 8. カメラとのシンクロを確認します

シンクロコードでカメラと接続し、カメラでの発光テストをします。

●本番撮影をされる前にシンクロ (同調) テストをされることをお奨めします。

【ご注意】

●カメラまたはレンズにM/X接点があるときは、必ずX接点を使用してください。

●フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用のときは、シャッター速度を1/60で使用してください。

5 出力配分

出力配分は、使用する出力コネクターと灯数で選択します。

調光は各々の出力値を最大出力として、出力バリエーターで1/8まで調光できます。

出力コネクター	①	②	③
1 灯	2400	—	—
1 灯	—	1200	—
1 灯	—	—	400
2 灯	1200	1200	—
2 灯	2000	—	400
2 灯	—	800	400
3 灯	1200	800	400

単位 (Ws)

【ご注意】

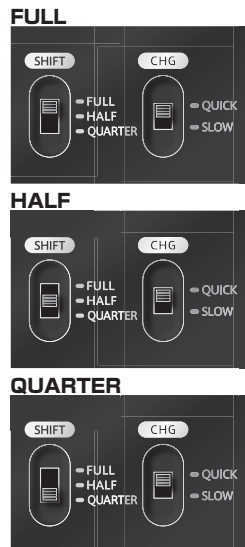
- コネクターを脱着するときは、必ずメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にしてから行ってください。

6 シフトスイッチ

出力配分 (各出力コネクターの FULL 出力) を FULL・HALF・QUARTER にシフトします。

※ FULL から HALF 及び QUARTER に操作した場合、空発光が必要になります。その場合、レディランプが点滅します。テスト発光スイッチを押すと、全出力の光量で発光し、次回から正常の光量になります。

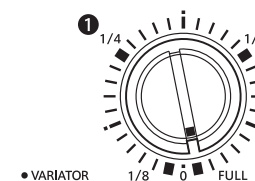
		出力コネクター		
		①	②	③
1 灯	FULL	2400		
	HALF	1200		
	QUARTER	600		
1 灯	FULL		1200	
	HALF		600	
	QUARTER		300	
1 灯	FULL			400
	HALF			200
	QUARTER			100
2 灯	FULL	1200	1200	
	HALF	600	600	
	QUARTER	300	300	
2 灯	FULL	2000		400
	HALF	1000		200
	QUARTER	500		100
2 灯	FULL		800	400
	HALF		400	200
	QUARTER		200	100
3 灯	FULL	1200	800	400
	HALF	600	400	200
	QUARTER	300	200	100



7 出力バリエーター

出力バリエーター (VARIATOR) は、各出力をFULLから1/8まで1/10EV ステップで調光します。

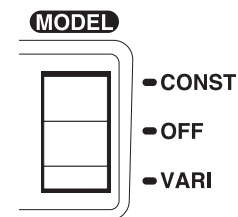
本機はシリーズカット調光方式を採用していますので、調光操作を行っても、カラ発光の必要はありません。



8 モデリングランプモード

モデリングランプは3つのモードから選択することができます。

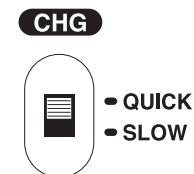
- CONST 出力バリエーターに関係なく、モデリングランプが常に100%の明るさで点灯します。
- OFF モデリングランプを消灯します。
- VARI モデリングランプはストロボ出力 2400Ws のとき、100%の明るさとして、各ストロボ出力に連動して、ストロボ出力 75Ws の明るさまで調光します。
※ストロボ出力 75Ws 以下は一定の明るさになります。



9 充電モード

使用状況や電力事情によってプレーカー容量が不足のときは、スロー充電モードで使うことができます。

	充電時間 50Hz/60Hz	プレーカ容量
クイック (QUICK)	3.5/3.0 秒	20A
スロー (SLOW)	5.0/4.4 秒	15A



10 充電サウンド

充電の状況をブザー音で知らせます。

- READY 充電が完了したとき、ブザーが鳴ります。
- OFF 消音。
- CHG 充電中ブザー (断続音) が鳴り、完了すると止まります。
- 警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

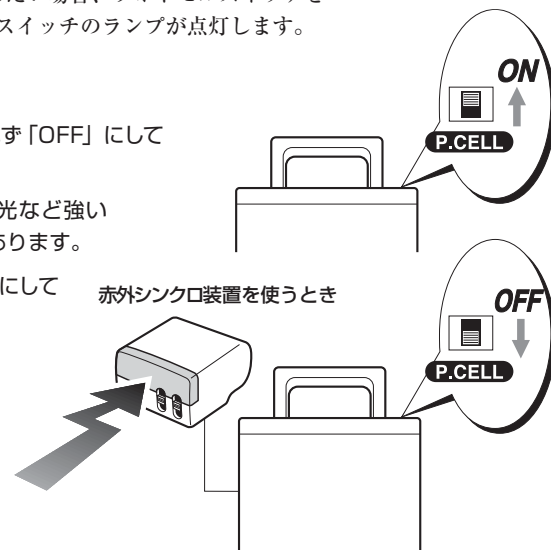


11 フォトセル

他のストロボ光を受けて同調発光したい場合、フォトセルスイッチを「ON」にします。「ON」にすると、スイッチのランプが点灯します。

【ご注意】

- 赤外シンクロ装置を使うときは必ず「OFF」にしてください。
- フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると作動しないことがあります。
- 同調発光させないときは「OFF」にしてご使用ください。



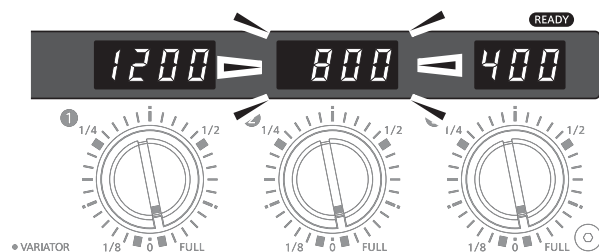
12 不発光警報

発光操作をしても、何らかの原因で発光しないとき、該当する出力コネクターの出力表示(デジタル数字)が点滅し、ブザーが鳴り、不発光を知らせます。充電完了前に発光操作を行ったときも、同様に警報が出ます。

- 警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

■警報の解除

不発光警報の解除は、充電完了後ふたたび発光操作をして正常に発光すると解除されます。また、メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にすることで解除されます。



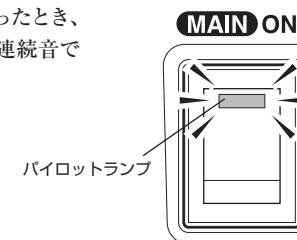
13 過熱警報

連続発光などにより内部の電子部品が所定の温度以上になったとき、メインスイッチ (MAIN) のパイロットランプが点滅し、ブザーの連続音で知らせます。このときは、ただちに使用を中止してください。

- 警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

■警報の解除

メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にすることで解除されます。



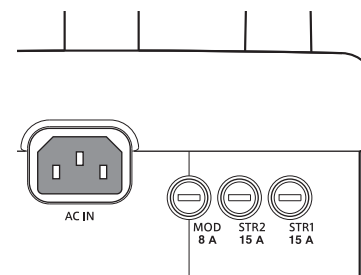
- 冷却を早めるために、メインスイッチ (MAIN) を「ON」にし、発光操作をせず、通電状態で風通しの良いところに置いてください。内蔵ファンで冷却効果が上がります。このとき、モデリングスイッチ (MOD) は「OFF」にしてください。

14 ヒューズ交換

ヒューズホルダーの蓋をドライバーで外し、断線したヒューズを取り出します。切れたヒューズと同じ定格のものと交換してください。

【ご注意】

- ヒューズ交換は、メインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ずACプラグをコンセントから抜いて行ってください。



STR 1	15A
STR 2	15A
MOD	8A

- ヒューズは必ず定格のものを使用してください。

15 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにらずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメント製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、電源部・ご使用中のすべてのヘッド・ヘッドコード・ACコード・シンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

16 仕様

品 名	CS-2400TII 電源部			
型 式	CS-2400TII			
定格電圧	AC100V±10% (50／60Hz)			
ヒューズ定格	ストロボ 15A 2本 モデリング 8A 1本			
出力コネクター数	3(CXタイプコネクター)			
最大出力	2400Ws			
出力配分 (Ws)	出力配分は出力コネクター感知方式で使用する出力コネクターにより、 下図のように配分されます。			
		①	②	③
	1灯	2400	—	—
	1灯	—	1200	—
	1灯	—	—	400
	2灯	1200	1200	—
	2灯	2000	—	400
	2灯	—	800	400
	3灯	1200	800	400
充電時間	充電モード			
	クイック(Q)	50Hz	60Hz	
	スロース(S)	3.5秒	3.0秒	
		5.0秒	4.4秒	
	充電時間は使用するAC電源の周波数によって異なります。			
ストロボ調光方式	3回路独立シリーズカット調光 電圧調光(シフトスイッチ操作時)			
ストロボ調光範囲	FULL～1／8(3絞り) 1／10 EV ステップ(クリック)			
出力表示	デジタル表示			
モデリング調光	1.(VARI) ※ 出力連動調光 ※モデリングランプはストロボ出力2400Wsのとき、 2.(OFF) 消灯 100%の明るさとして、各ストロボ出力に連動して 3.(CONST) 100%点灯 調光します。 1／16以下は1／16の光量で一定			
シンクロソケット	ホーンジャックタイプ × 2			
シンクロ電圧	DC12V			
フォトセル	内蔵(スイッチ付)			
充電サウンド	充電完了音(READY)／充電中音(CHG)／消音(OFF)			
不発光警報	該当する出力表示点滅とブザーによる連続音 ※充電完了前に発光操作をすると警報がでます。			
過熱警報	ACパイロットランプ点滅とブザーによる連続音			
クーリングファン	内蔵			
寸 法	245(w)× 238.5(h)×158.5(d) mm ※取手含まず			
重 量	6.5kg			

- 本仕様は、2021年4月現在のものです。
- 改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

MEMO

MEMO
